

【7月10日（木）第1日目】 第1会場（1F メインホール）

9:00～11:00

シンポジウム1 肝細胞癌薬物療法のファーストラインを考える：薬剤の選択と最適化

司会：森本 直樹（自治医科大学 内科学講座消化器内科学部門）

中川 勇人（三重大学大学院医学系研究科消化器内科学）

-
- | | |
|----------|--|
| SY1-1 | 当科における進行肝細胞癌に対する薬物療法の予後に寄与する因子についての検討
林 秀樹（岐阜市民病院 消化器内科） |
| SY1-2 | 進行肝細胞癌に対する複合免疫療法における早期 PD に関する検討
米本 卓弥（千葉大学大学院 医学研究院 消化器内科学） |
| SY1-3 | 高齢肝細胞癌患者に対する複合免疫療法
大野 敦司（広島大学病院 消化器内科） |
| SY1-4 | 高度門脈侵襲を伴う肝細胞癌に対する一次全身薬物療法の検討
小宮山 哲史（横浜市立大学附属市民総合医療センター） |
| SY1-5 | 進行肝細胞癌に対する atezolizumab + bevacizumab 併用療法時の scheduled TACE の有効性 ―多施設共同研究―
井本 効志（九州大学大学院医学研究院 病態制御内科学/LINKS（九州大学第3内科肝臓研究室関連施設）） |
| SY1-6 | 腫瘍マーカーによる治療モニタリングから考える肝細胞癌薬物療法のファーストラインレジメン
佐伯 一成（山口大学大学院医学系研究科 消化器内科学/Hepatology InVestigator Experts in Japan（HIVE-J）Study Group） |
| SY1-7 | 切除不能肝細胞癌に対する mTM score を用いた薬物療法ファーストライン最適化の試み
田中 一成（手稲溪仁会病院 消化器病センター/RELPEC/HCC48） |
| SY1-8 | アテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法における治療ライン別での血中 IL-6 濃度から見た治療奏効性と予後予測
保坂 哲也（虎の門病院・肝臓センター） |
| SY1-特別発言 | 泉 並木（武蔵野赤十字病院消化器内科） |

11:10～12:10

特別企画 AI がもたらす医療の未来

司会：村上 卓道（神戸大学大学院医学研究科放射線医学分野）

大段 秀樹（広島大学大学院医系科学研究科 消化器・移植外科外科学）

-
- | | |
|-------|---|
| SPJ-1 | AI 技術が医療現場にもたらす新たな可能性
新岡 宏彦（九州大学 データ駆動イノベーション推進本部 健康医療 DX 推進本部） |
| SPJ-2 | 普段の診療・研究に AI を生かすために必要なこと
山下 理宇（国立がん研究センター 先端医療開発センター/東京大学 新領域 メディカル情報生命/東京理科大学 生命科学研究科） |

シンポジウム 4 肝癌放射線治療の新潮流：最適化された治療技術とその未来

司会：櫻井 英幸（筑波大学医学医療系放射線腫瘍学）

武田 篤也（慶應義塾大学医学部放射線科学教室（治療））

-
- SY4-1 **肝細胞癌に対する定位放射線療法の有用性**
田中 宏典（徳島大学大学院医歯薬学研究部 消化器内科学）
- SY4-2 **当院における肝細胞癌のサイバーナイフ治療成績**
大木 隆正（塩田記念病院 サイバーナイフセンター/三井記念病院 消化器内科）
- SY4-3 **肝細胞癌に対する体幹部定位放射線治療 850 例超の治療成績**
鶴貝 雄一郎（大船中央病院 放射線治療センター）
- SY4-4 **小型肝細胞癌に対する定位放射線治療症例の前向き登録データを用いたレジストリ研究（JROSG24-2）**
木村 智樹（高知大学医学部附属病院 放射線治療科）
- SY4-5 **TACE 不適 intermediate stage HCC に対する陽子線治療**
新津 光（筑波大学医学医療系 放射線腫瘍学・陽子線医学利用研究センター）
- SY4-6 **切除不能肝細胞癌患者における陽子線治療の局所制御能と骨格筋量／肝予備能の検討**
野阪 拓人（福井大学医学系部門 内科学（2）分野）
- SY4-7 **肝内胆管癌に対する重粒子線治療の経験**
鈴木 修（大阪重粒子線センター）
- SY4-8 **高度脈管侵襲を伴う肝細胞癌に対する陽子線治療成績**
石田 俊樹（筑波大学医学医療系 放射線治療学・陽子線医学利用研究センター）
- SY4-9 **脈管侵襲を標的とした重粒子線治療と免疫療法の併用：進行肝細胞癌に対する第 Ib 相試験（DEPARTURE trial）**
興枅 慧輔（千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学）

9:00 ~ 11:00

シンポジウム2 BR-HCC の課題と展望

司会：調 憲（群馬大学医学研究科総合外科学講座肝胆膵外科学分野）

川村 祐介（埼玉医科大学総合医療センター 消化器・肝臓内科）

-
- | | |
|--------|--|
| SY2-1 | 肝切除後再発肝細胞癌における腫瘍学的切除可能性分類の有用性
石原 伸朗（神戸大学 肝胆膵外科） |
| SY2-2 | 腫瘍学的切除可能性分類からみた肝細胞癌に対する肝切除を再考する
伊藤 心二（九州大学大学院 消化器・総合外科） |
| SY2-3 | Borderline resectable 分類からみた肝細胞癌患者の予後と臨床的特徴
多田 藤政（愛媛県立中央病院 消化器病センター内科） |
| SY2-4 | アテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法における Borderline Resectable HCC の治療予後に関する検討
的野 智光（兵庫県立はりま姫路総合医療センター 消化器内科/RELPEC Study Group/HCC48 Group） |
| SY2-5 | 腫瘍学的切除可能性分類の構成因子陽性数に基づく追加インターベンションの成功確率と成績
進藤 潤一（虎の門病院 消化器外科） |
| SY2-6 | 進行肝細胞癌に対して全身薬物治療後に肝切除を行なった症例の検討
石井 隆道（京都大学 大学院医学研究科 消化器腫瘍制御・臓器再生外科/京都大学 大学院医学研究科 肝胆膵・移植外科） |
| SY2-7 | 肝細胞癌腫瘍学的切除可能性分類の検証と外科治療戦略の考察
小林 剛（広島大学 消化器・移植外科学） |
| SY2-8 | 初発肝細胞癌に対する腫瘍学的切除可能性分類に基いた外科的切除例の検討
濱田 隆志（長崎大学大学院 移植・消化器外科） |
| SY2-9 | 当院における進行肝細胞癌に対する外科手術と薬物療法
長谷川 慎一郎（大阪大学 消化器外科） |
| SY2-10 | BR-HCC に対する術前補助療法後の切除と conversion surgery の成績
市田 晃彦（東京大学肝胆膵外科） |
| SY2-11 | 切除不能 HCC に対する Atezo+Bev 療法と外科切除を用いた集学的治療の多施設共同第Ⅱ相臨床研究（RACB 試験）
竹村 信行（埼玉医科大学総合医療センター 肝胆膵外科・小児外科） |
| SY2-12 | BR 基準を用いてアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法後の conversion therapy を考察する
下瀬 茂男（久留米大学医学部内科学講座 消化器内科部門/HIVE-J study group） |

ディベート1 肝細胞癌の全身薬物療法の新時代：Nivo+Ipi vs. Atezo+Bev

司会：工藤 正俊（近畿大学医学部消化器内科学講座）

山下 竜也（公立松任石川中央病院 消化器内科）

- DB1-1 肝細胞癌における新規免疫チェックポイント阻害薬併用療法：ニボルマブ+イピリムマブ併用療法
平岡 淳（愛媛県立中央病院・消化器内科）
- DB1-2 肝細胞癌の全身薬物療法の新時代: Nivo+Ipi vs. Atezo+Bev～Atezo+Bev の立場から～
土谷 薫（武蔵野赤十字病院・消化器科）

14:30 ~ 16:30

パネルディスカッション3 肝癌診療をサポートするバイオマーカーの未来：臨床応用の最前線

司会：田中 真二（東京科学大学大学院医歯学総合研究科分子腫瘍医学分野）

建石 良介（東京大学大学院医学系研究科消化器内科学）

- PD3-1 脂肪性肝疾患における Agile 3+スコアを用いた高度線維化診断と肝発癌リスク予測
中塚 拓馬（東京大学医学部附属病院 消化器内科）
- PD3-2 EOB-MRI 画像より得られた Liver to Spleen ratio は肝細胞癌術再発を予測するバイオマーカーである
野竹 剛（信州大学 医学部 外科学教室 消化器・移植・小児外科学分野）
- PD3-3 同一患者・同一時点の肝腫瘍生検検体 bulk RNAseq データを用いた、進行肝細胞癌における腫瘍不均一性の検討
澤田 翠（千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学）
- PD3-4 リキッドバイオプシーと腫瘍マーカーを用いた機械学習による慢性肝障害・肝癌の新規サーベイランスモデル
國宗 勇希（山口大学大学院医学系研究科 臨床検査・腫瘍学講座/山口大学医学部附属病院 検査部）
- PD3-5 解剖学的肝切除の適応症例選択における GPC3 陽性循環腫瘍細胞測定の有用性
難波 洋介（広島大学 消化器移植外科）
- PD3-6 肝癌複合免疫療法における循環腫瘍細胞の分子解析による治療効果予測バイオマーカーの検討
村田 陽介（福井大学医学系部門 消化器内科）
- PD3-7 切除不能肝細胞癌に対するアテゾリズマブベバシズマブ療法における AFP-L3 の測定意義
岡村 順平（和歌山労災病院 肝臓内科）
- PD3-8 アテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法を施行した進行肝細胞癌症例におけるリンパ球単球比の有用性の検討
大森 将貴（神戸大学 肝胆膵外科）
- PD3-9 アテゾリズマブ・ベバシズマブ併用治療後の筋肉量変化は治療予後予測のバイオマーカーになりうるか
越智 裕紀（松山赤十字病院・肝胆膵内科）

- PD3-10 **Psoas muscle Index は薬物療法を導入した進行肝細胞癌患者における独立した予後因子である**
今井 健二（岐阜大学医学部附属病院 消化器内科）
- PD3-11 **Cr/CysC 比は肝細胞癌に対するアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法の効果予測因子になりうるか**
加知 宏規（奈良県立医科大学 消化器・代謝内科）
- PD3-12 **Atezolizumab/Bevacizumab 併用療法における低栄養診断と予後関連因子の検討**
大浦 杏子（香川大学 医学部 消化器・神経内科学）

9:00 ~ 11:00

シンポジウム3 肝癌微小環境に注目した新規治療法の開発-基礎と臨床から

司会：武富 紹信（北海道大学大学院消化器外科学教室Ⅰ）

小玉 尚宏（大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学）

-
- SY3-1 **肝細胞癌の腫瘍微小環境と複合免疫療法の治療効果との関係：病理の立場から**
紅林 泰（慶應義塾大学 医学部 病理学教室）
- SY3-2 **肝癌微小環境解析による複合免疫療法抵抗性機序の解明と新規治療標的探索**
小玉 尚宏（大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学）
- SY3-3 **切除不能肝細胞癌に対するアテゾリズマブ/ベバシズマブ併用療法無効関連免疫因子の同定**
南波 宏征（国立国際医療研究センター 肝疾患研究部/北海道大学病院 消化器外科Ⅰ）
- SY3-4 **NRF2/PGE 経路は免疫枯渇型肝癌を誘導し Atez/Bev 抵抗性を惹起する**
山本 修平（大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学）
- SY3-5 **シングルセル解析を用いた複合免疫療法による肝細胞癌の領域別腫瘍微小環境変化の解明**
岩崎 恒（九州大学大学院 消化器・総合外科（第二外科））
- SY3-6 **新規複合免疫製剤による肝細胞癌の微小環境改変と免疫チェックポイント阻害剤の治療効果向上**
中島 正夫（山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科）
- SY3-7 **Lenvatinib 耐性肝細胞癌微小環境における悪性度増強・薬剤耐性獲得機序の解明**
宮崎 克己（徳島大学 消化器・移植外科）
- SY3-8 **肝細胞癌における腫瘍関連高内皮細静脈と腫瘍浸潤リンパ球の関連**
青山 修宇（大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学/大阪大学大学院医学系研究科臨床腫瘍免疫学）
- SY3-9 **解糖系が亢進した肝細胞癌の免疫微小環境と臨床的特徴**
青木 智子（近畿大学 医学部 消化器内科）
- SY3-10 **肝癌微小環境における癌関連線維芽細胞の機能的・空間的極性化と癌免疫制御**
西尾 太宏（京都大学医学研究科 肝胆膵・移植外科）
- SY3-11 **肝細胞癌術後早期再発の病態解明と予後予測モデル構築を目指した FFPE プロテオミクス解析**
安達 雄輝（旭川医科大学 外科学講座 肝胆膵・移植外科学分野/国立がん研究センター研究所 希少がん研究分野/JA 北海道厚生連 遠軽厚生病院）

11:10 ~ 12:00

一般口演2 低侵襲肝切除1

司会：木戸 正浩（神戸大学大学院医学研究科 肝胆膵外科学分野）

-
- O2-1 **肝硬変症例におけるロボット支援下肝切除の課題**
播本 憲史（国立病院機構 九州医療センター 肝胆膵外科）
- O2-2 **ロボット支援下肝 S8 部分切除の手術成績の検討**
権 英寿（神戸大学大学院医学研究科外科学講座 肝胆膵外科学分野）

- O2-3 ロボット支援肝切除における定型化と工夫 - 地方大学の試みと現在地 -
森根 裕二（徳島大学 消化器・移植外科）
- O2-4 当科におけるロボット支援腹腔鏡下肝切除の現状と術者の育成
雨宮 秀武（山梨大学 医学部 第一外科）
- O2-5 新規 surgical robot system hinotori™ を用いた肝切除最初期 12 例の報告
守瀬 善一（藤田医科大学 医学部 外科学（岡崎医療センター））
- O2-6 低侵襲肝切除の現状と課題：東北大学および関連施設の取り組み
藤尾 淳（東北大学病院 総合外科）

14:30 ~ 16:30

パネルディスカッション 4 肝癌アブレーション療法の進化：ラジオ波 vs マイクロ波 そして 新技術

司会：狩山 和也（岡山市立市民病院消化器内科）
廣岡 昌史（愛媛大学医学部附属病院総合診療サポートセンター）

- PD4-1 次世代マイクロ波熱凝固療法の基本プロトコル単純化と施行医育成
中村 進一郎（姫路赤十字病院）
- PD4-2 肝細胞癌の腫瘍径に基づくマイクロ波とラジオ波の使い分け：多施設共同無作為化比較試験データベースの解析
杉本 勝俊（東京医大・消化器内科）
- PD4-3 当院における肝細胞癌に対するラジオ波焼灼療法とマイクロ波凝固療法の治療成績
上平 祐輔（広島大学病院 消化器内科）
- PD4-4 どのような肝細胞癌に対して次世代マイクロ波を選択すべきか？
玉井 秀幸（和歌山労災病院 肝臓内科）
- PD4-5 15G 針を用いたラジオ波焼灼療法の臨床的有用性：第 2 世代マイクロ波焼灼療法との比較
中村 由子（愛媛大学 医学部 医学系研究科 消化器・内分泌・代謝内科学）
- PD4-6 肝癌に対してリニア方式にて通電を行う RFA 治療は、治療後の異所性再発を減少させる可能性がある
高谷 広章（奈良県立医科大学 消化器代謝内科/奈良県西和医療センター 消化器内科）
- PD4-7 免疫チェックポイント阻害薬投与中の Ablation 追加は予後を改善するかもしれない
狩山 和也（岡山市立市民病院 消化器内科/RELPEC Study Group & HCC48 Group）
- PD4-8 肝細胞癌切除後肝内再発に対するアブレーションの予後改善効果
坂元 克考（京都大学 医学部 肝胆膵移植外科）
- PD4-9 転移性肝癌に対する局所コントロールからみた経皮的アブレーション療法
中島 隆善（医療法人信和会明和病院 外科）
- PD4-特別発言 廣岡 昌史（愛媛大学医学部附属病院総合診療サポートセンター）

9:00～11:00

パネルディスカッション1 TACEとHAICの今後

司会：稲葉 吉隆（愛知県がんセンター 放射線診断部・IVR部）
上嶋 一臣（近畿大学医学部消化器内科）

- | | |
|-------|---|
| PD1-1 | 後期高齢者における良好な腫瘍制御を目指した LEN-TACE の有用性
檜原 哲史（熊本大学大学院生命科学研究部生体機能病態学分野 消化器内科学） |
| PD1-2 | アテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法後における TACE/HAIC の意義
浅原 和久（静岡県立静岡がんセンター IVR 科） |
| PD1-3 | 切除不能肝細胞癌に対する LEN-New FP 療法—薬物療法不応不耐症例に対するサルベージ治療としての有用性—
丸田 享（さいたま赤十字病院 消化器内科） |
| PD1-4 | 当院における肝動注化学療法（New FP 療法）の治療成績の時代変遷
新関 敬（久留米大学病院 消化器内科） |
| PD1-5 | 進行肝細胞癌に対する New FP 療法と全身薬物療法併用の有用性
永松 洋明（順天堂大・消化器内科） |
| PD1-6 | DC ビーズ M1 による DEB-TACE：初期使用経験と短期成績
叶川 直哉（千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学） |
| PD1-7 | マイクロカテーテル挿入可能ポート（ReMAP）を用いた高度進行肝細胞癌に対する新規カテーテル治療
佐藤 健司（奈良県立医科大学 医学部 放射線診断・IVR 学） |
| PD1-8 | 肝動脈化学塞栓療法におけるガラス膜乳化装置を用いた多施設での治療効果の検討
森下 朝洋（香川大学 医学部 消化器・神経内科学） |

11:10～11:50

一般口演3 放射線治療

司会：鈴木 修（大阪重粒子線センター 放射線科）

- | | |
|------|---|
| O3-1 | 放射線治療と化学療法を併用した進行肝細胞癌の症例検討
吉田 英雄（日本赤十字社医療センター） |
| O3-2 | 脈管に近接した肝細胞癌に対する放射線治療と経皮的ラジオ波焼灼術との比較検討
田中 紘介（飯塚病院 肝臓内科） |
| O3-3 | 進行肝細胞癌に対して薬物療法後にコンバージョン治療として重粒子線治療を施行した症例の検討
安齋 春香（千葉大学大学院 医学研究院 消化器内科学） |
| O3-4 | 肝細胞癌に対する体幹部定位放射線治療（SBRT）初回照射と再照射の比較：ALBI grade を用いた生存解析
中村 太祐（長崎大学病院 放射線科/NHO 長崎医療センター 放射線科） |

- O3-5 **肝細胞癌に対する粒子線治療と経動脈的化学塞栓療法の傾向スコアマッチングを用いた比較検討**
上嶋 英介（神戸大学大学院 医学研究科 放射線医学分野）

14:30 ～ 16:10

ワークショップ2 リアルワールドでの Child B 症例に対する薬物療法

司会：能祖 一裕（岡山市立市民病院 消化器内科）
葛谷 貞二（藤田医科大学消化器内科）

- WS2-1 **実臨床における Child B 肝癌に対する Atezolizumab/Bevacizumab 併用療法の治療成績**
佐々木 龍（長崎大学病院 消化器内科/Hepatology InVestigator Experts in Japan (HIVE-J) Study Group）
- WS2-2 **アテゾリズマブ/ベバシズマブ併用療法が投与された Child-Pugh 分類 B 症例の検討**
江原 真由実（神戸大学大学院 医学研究科 内科学講座 消化器内科学分野）
- WS2-3 **Child-Pugh B 例におけるアテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法の実臨床成績**
山崎 雄大（武蔵野赤十字病院 消化器内科）
- WS2-4 **Child-Pugh B に対する肝細胞癌の複合免疫療法の治療成績**
有賀 美月（藤田医科大学 消化器内科）
- WS2-5 **Child Pugh B の切除不能肝細胞癌患者に対するアテゾリズマブ・ベバシズマブ治療の転帰に握力が与える影響**
遠藤 啓（岩手医科大学内科学講座消化器内科分野）
- WS2-6 **Child-Pugh B 肝癌に対する複合免疫療法**
大濱 日出子（愛媛県立中央病院 消化器内科/RELPEC/HCC48）
- WS2-7 **Child B 症例に対する肝癌薬物療法の現状-HERITAGE 試験から-**
浅岡 良成（帝京大学 医学部 内科学講座/国立国際医療研究センター）

9:00 ~ 11:00

パネルディスカッション2 大腸癌肝転移の治療最適化：多岐にわたるアプローチ

司会：長谷川 潔（東京大学大学院医学系研究科臓器病態外科学肝胆膵外科）

田中 利洋（奈良県立医科大学 放射線診断・IVR学講座）

- | | |
|-------|--|
| PD2-1 | 大腸癌肝転移における肝切除との予後比較からみた経皮マイクロ波 ablation 治療の有用性
相原 司（明和病院） |
| PD2-2 | 大腸癌切除後の切除不能同時性肝転移に対するラジオ波焼灼術併用化学療法の有効性：
傾向スコアを用いた解析
森山 慎（三井記念病院） |
| PD2-3 | 切除可能大腸癌肝転移に対する治療戦略-IPTW 法による比較-
吉崎 雄飛（東京大学 肝胆膵外科・人工臓器移植外科） |
| PD2-4 | Early surgical failure から読み解く大腸癌肝転移に対する術前化学療法の有効性の検証
水上 奨一郎（旭川医科大学 外科学講座 肝胆膵・移植外科学分野） |
| PD2-5 | 切除不能大腸癌肝転移に対する生体肝移植術
伊藤 孝司（京都大学医学研究科 肝胆膵移植外科） |
| PD2-6 | 全身化学療法不応後の大腸癌肝転移に対するイリノテカン溶出性ビーズ TACE と 5-FU
リザーバー動注の併用療法
豊田 将平（奈良県立医科大学附属病院 医学部 放射線診断・IVR学講座） |
| PD2-7 | 大腸癌転移性肝腫瘍の粒子線治療成績
福光 延吉（神戸陽子線センター 放射線治療科） |

11:05 ~ 11:40

一般口演4 局所療法

司会：西村 貴士（兵庫医科大学消化器内科学（肝胆膵部門）/超音波センター）

- | | |
|------|--|
| O4-1 | 肝細胞癌の脾転移に対して経皮的ラジオ波焼灼療法（RFA）を施行した一例
川田 沙恵（大阪急性期・総合医療センター 消化器内科） |
| O4-2 | 多発肝細胞癌に Atezolizumab+Bevacizumab 療法と局所療法後、mRECIST CR も
再発し NewFP 療法を施行した 3 例
遠藤 伸也（静岡県立総合病院 消化器内科） |
| O4-3 | 小径ビーズを用いた DEB-TACE の初期経験
喜多 竜一（大阪赤十字病院 消化器内科） |
| O4-4 | 肝細胞癌の大腿骨および腸骨転移に対する緩和的 TAE の初期経験
喜多 竜一（大阪赤十字病院 消化器内科） |

一般口演 6 微小環境・バイオマーカー

司会：田中 靖人（熊本大学大学院生命科学研究部消化器内科学講座）

- O6-1 肝細胞癌術後の早期ミラノ基準外再発と癌微小環境の関係
春木 孝一郎（東京慈恵会医科大学 外科学講座 肝胆膵外科）
- O6-2 B型慢性肝疾患患者における PreS1/HBsAg 比と肝発癌に関する検討
藤野 初江（広島大学病院 消化器内科）
- O6-3 肝細胞癌非根治的再発（4個以上の肝内病変、肉眼的脈管侵襲、肝外転移）の発症機序に関する臨床的検討
今村 宏（順天堂大学 医学部 肝胆膵外科）
- O6-4 肝細胞癌切除後残肝再発に関与するバイオマーカーの探索
～ウイルス性肝炎と非ウイルス性肝炎との違い～
林 真路（名古屋大学 消化器・腫瘍外科）

14:30 ~ 16:30

ワークショップ 3 進行肝癌に対する薬物療法後コンバージョンのインパクト

司会：海堀 昌樹（関西医科大学肝臓外科学講座）

吉住 朋晴（九州大学消化器・総合外科）

- WS3-1 進行肝癌に対する複合免疫療法による cancer-free の治療成績：多施設共同研究
畑中 健（済生会前橋病院・消化器内科）
- WS3-2 進行肝細胞癌における Cancer Free 達成を目指した治療戦略とその予後
三輪 千尋（千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学）
- WS3-3 Borderline resectable HCC に対する Atezolizumab plus Bevacizumab 療法後
コンバージョン手術のインパクト
高橋 裕之（旭川医科大学外科学講座肝胆膵・移植外科学分野）
- WS3-4 進行肝細胞癌への薬物療法の進歩における外科的治療の役割
山本 栄和（関西医科大学 肝臓外科）
- WS3-5 免疫チェックポイント阻害薬治療後肝細胞癌患者に対する肝切除の短期治療成績
谷岡 信寿（高知大学 医学部附属病院 外科学講座外科）
- WS3-6 進行肝細胞癌の切除可能性 subclassification に基づく肉眼的脈管侵襲症例に対する
コンバージョン手術
西尾 太宏（京都大学医学研究科 肝胆膵・移植外科）
- WS3-7 切除不能進行肝細胞に対するアテゾリズマブ+ベバシズマブ治療における局所療法併用の
意義
荘 拓也（北海道大学 消化器内科）
- WS3-8 切除不能肝細胞癌に対するアテゾリズマブ・ベバシズマブ療法による CR 達成後の再発に
寄与する因子の検討
中堀 輔（大阪国際がんセンター 肝胆膵内科）
- WS3-9 免疫療法後の根治的コンバージョン治療の成績と適応
田井 謙太郎（神戸大学 大学院医学研究科外科学講座 肝胆膵外科学分野）

9:00 ~ 10:30

ワークショップ1 まれな肝がんの治療戦略：希少例に挑む

司会：坂元 亨宇（国際医療福祉大学医学部）

後藤田直人（国立がん研究センター東病院肝胆膵外科）

- | | |
|--------|--|
| WS1-1 | 組織学的診断に難渋した肝原発血管内大細胞型 B 細胞リンパ腫の 1 症例
阿部 珠美（岩手医科大学内科学講座消化器内科分野） |
| WS1-2 | 病理解剖により診断に至った肝炎症性筋線維芽細胞腫瘍の 1 例
藤岡 毅（山口大学大学院医学系研究科消化器内科学） |
| WS1-3 | 糖原病 1a 型患者における悪性転化を伴う炎症性肝細胞腺腫切除例
谷岡 弘彬（京都大学 医学部附属病院 肝胆膵・移植外科） |
| WS1-4 | Hepatocellular malignant neoplasm not otherwise specified に肝動注化学療法後 conversion 切除した一例
森山 悦子（久留米大学 医学部 内科学講座 消化器内科部門） |
| WS1-5 | 肉腫様肝細胞癌における臨床病理学的特徴と免疫微小環境の解析
神谷 肇（国立がん研究センター東病院 肝胆膵外科） |
| WS1-6 | アテゾリズマブ+ベバシズマブ治療が有効であった肝 Sarcomatoid carcinoma の一症例
金 秀基（神戸朝日病院 消化器科） |
| WS1-7 | 術前診断に苦慮した肝原発肉腫の切除 2 症例
巖 康仁（金沢大学 肝胆膵・移植外科） |
| WS1-8 | 当院で診断した肝血管肉腫の 3 例
井上 裕太（神戸大学 医学部附属病院 消化器内科） |
| WS1-9 | 稀少肝癌に対する重粒子線治療経験
鈴木 修（大阪重粒子線センター） |
| WS1-10 | 全国がん登録を用いた肝実質原発の希少がん・希少サブタイプの疫学的検討
佐竹 智行（国立がん研究センター東病院肝胆膵内科） |

10:40 ~ 11:15

一般口演1 病理

司会：尾島 英知（栃木県立がんセンター病理診断科・研究所分子病理分野）

- | | |
|------|---|
| O1-1 | Glutamine synthetase 発現パターンによる serum amyloid A 陽性肝細胞性腫瘍/炎症性肝細胞腺腫の再検討
佐々木 素子（金沢大学 医学系 人体病理学） |
| O1-2 | 胆管微小過誤腫は肝内胆管癌の先行病変か？
中沼 安二（福井県済生会病院病理診断科/静岡県立がんセンター） |
| O1-3 | 肝原発多形型脂肪肉腫の一例
河野 遼（虎の門病院 医学教育部/虎の門病院 臨床腫瘍科） |

01-4 **RAS 変異型大腸癌肝転移における病理組織学的特徴**
吉山 貴之（九州大学 消化器・総合外科）

11:15 ~ 11:50

一般口演 5 基礎・がんゲノム

司会：寺井 崇二（新潟大学大学院医歯学総合研究科消化器内科学分野）

- 05-1 **肝細胞癌細胞株 Huh7 を用いた脂肪酸取り込みによる放射線感受性関与の検討**
田中 遙大（弘前大学 大学院保健学研究科 放射線技術科学領域）
- 05-2 **EGFR 阻害は肝細胞癌細胞におけるレンバチニブ耐性を克服する**
中馬 誠（JCHO 横浜保土ヶ谷中央病院 消化器内科/横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター）
- 05-3 **原発性肝癌における遺伝子パネル検査の現状**
高浦 健太（武蔵野赤十字病院 消化器内科）
- 05-4 **化学的に誘導されたヒト肝前駆細胞における TERT プロモーター変異に関する検討**
長谷川 佳代（長崎大学大学院 移植・消化器外科学）

14:30 ~ 15:05

一般口演 7 肝切除 1

司会：横尾 英樹（旭川医科大学外科学講座肝胆膵・移植外科学分野）

- 07-1 **AFP 陰性肝細胞癌における再発予測因子としての AFP の有用性**
生田 真一（医療法人 信和会 明和病院 外科）
- 07-2 **肝門部操作を伴う肝切除後の再肝切除に関する検討**
荒井 啓輔（神戸大学大学院 医学研究科 外科学講座 肝胆膵外科学分野）
- 07-3 **Fontan 関連肝細胞癌に対する肝切除に関する検討**
有泉 俊一（東京女子医科大学 消化器・一般外科）
- 07-4 **肝切除後の肝細胞癌における 10 年間無再発症例の検討**
旭 火華（北海道大学 消化器外科 1）

15:05 ~ 15:40

一般口演 8 肝切除 2

司会：高槻 光寿（琉球大学消化器・腫瘍外科）

- 08-1 **肝切除における栄養リスク評価法の検討**
王子 健太郎（神戸大学 大学院医学研究科外科学講座 肝胆膵外科学分野）
- 08-2 **3cm 以下 3 個以下肝細胞癌に対する根治的治療法（肝切除術/ラジオ波焼灼術）選択を支援する AI アルゴリズム**
國土 貴嗣（国立国際医療研究センター病院）
- 08-3 **肝癌肝切除における術前評価としての腹腔動脈起始部石灰化の意義：石灰化は術後合併症、肝不全と関連する**
伊藤 貴洋（三重大大学 肝胆膵・移植外科）

- O8-4 **超音波所見から推測する転移性肝癌の腫瘍辺縁 ICG 蛍光の検討**
 田代 良彦（昭和医科大学医学部外科学講座消化器一般外科学部門）

15:40 ～ 16:20

一般口演 9 薬物療法 1

司会：中馬 誠（JCHO 横浜保土ヶ谷中央 消化器内科）

-
- O9-1 **デュルバルマブ・トレメリムマブ併用療法の有効性、安全性に関する検討**
 田中 愛子（広島大学病院 消化器内科）
- O9-2 **当院における Durvalmab+Tremelimumab 併用療法の治療成績**
 出口 章広（香川労災病院 消化器内科）
- O9-3 **切除不能肝細胞癌に対するデュルバルマブ+トレメリムマブ併用療法の治療成績**
 西岡 千夏（大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学）
- O9-4 **当院における進行肝細胞癌に対する一次薬物療法としての STRIDE の初期使用経験**
 木戸 秀典（金沢大学附属病院 消化器内科）
- O9-5 **当院における肝細胞癌に対する Tremelimumab+Durvalumab 併用療法**
 花園 ゆりか（国立病院機構熊本医療センター 消化器内科）